学校番号	123

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新選世界史Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十一訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

長い時間を多くの人間が生存して歴史が築かれてきたことを理解してください。どの場所でどの時代に誰が何をという基本事項をおさえながら、歴史に興味を持たせたい。日本と関係のある内容に関しては、世界史の中での日本についても理解して、考えるように努めてください。

2　学習の到達目標

①歴史事象がどの地域でどの時代の出来事かを理解する。
②人類の誕生以降の人類の発明と進化について理解する。
③世界の多様性について広い視野を持つことができるよう理解する。
④日本の歴史と関係する世界の歴史について理解する。
⑤現代社会の諸問題がいかにしてできていったかを、歴史の中から理解する。
⑥暗記だけでなく、自分の考えを発表したり、レポートに書いたりできる力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から現代に至る中での歴史上の人物や歴史事象に関心を持ち、意欲的に調べることで、現代社会の世界の中に生きる日本人としての態度について考えさせる。	ある客観的歴史事実についての評価については、立場によっても時代によっても違うということについて思考させ、また人によっても判断が違うという点についても表現させる。	教科書や図録に載っている数字やグラフによる資料を理解する力をつけ、また、その歴史事象がどの史料の裏づけを持つ内容なのかを調べる技能をつける。	古代から現代までの基本的歴史の内容や、歴史軸(時代)と空間軸(場所)を理解する。その上でその知識を現代の私たちの歴史に生かせるようになる。
評価方法	レポート 主題学習 発表	定期考査 レポート 主題学習	レポート 主題学習 発表	定期考査 レポート 主題学習
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球と人間のはじまり	西アジア世界・地中海世界の形成 南アジア世界・東南アジア世界の形成 東アジア世界・内陸アジア世界の形成	○	 ○	○	○ ○ ○	a:人類の誕生という人類の歴史のスタートについての関心を高め、古代の歴史に関わる主題を意欲的に考察している。 b:日本も含まれ、日本との関わりが深い東アジア社会について考えている。 c:日本に近い東南アジアについて、諸資料を見ながら、地図を利用し、作業をすることができる。 d:各地での人類誕生の歴史について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
2学期	諸地域世界の交流と再編・諸地域世界の結合と変容	イスラーム世界の形成と拡大 ヨーロッパ世界の形成と変動 内陸アジア世界と諸地域世界 アジア諸地域世界の繁栄と成熟 ヨーロッパの拡大と大西洋社会 産業社会と国民国家の形成 世界市場の形成とアジア諸国	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:イスラーム・ヨーロッパ社会・アジアの繁栄について関心を持っている。 b:アジアとヨーロッパが発展する様子を調べさせ、その結果を考察し、その過程を適切に表現している。 c:アジアとヨーロッパについての資料や図表をまとめている。 d:諸地域が時代の中で発展していく歴史について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート 発表

３学期	地球世界の形成	世界の分割 二つの世界大戦 戦後世界の形成と変容 21世紀の課題	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ 	○ ○ 	a:現代につながる２０世紀の歴史について、日本との関わりの中で、その関心を高め意欲的に考察している。 b:二度の世界大戦から２１世紀に至る歴史について、日本と関連させながら考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:この時代の資料を集め、それを図表に中にまとめている。 d:現代史の内容について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。